SS課題探究Ⅰ【ＳＤＧｓ達成のためのアイデア提案】最終まとめと発表準備

|  |
| --- |
| ＳＤＧｓについては、情報を収集、分析、整理し、夏休みには研究テーマを決定し、その課題解決のためのアイデア（素案）を提案した。夏休み明けには、自分の提案したアイデアを掘り下げ、解決する課題を明確にしたうえで、最終的なアイデアを決め、さらにどのような効果が得られるのかを、根拠をもとにまとめた。  今後は、これまでの一連の作業を他者に伝えていく。前時は、自分のアイデアをレポートにまとめる方法を確認した。本時は、来週から行う発表の内容について確認する。また、自分のアイデアや期待できる効果について検証する最後の授業となるため、気になる点がある場合は先生や友達と積極的に意見を交わそう。 |

■発表について

日　時：令和■年■月■日（■）■校時、■日（■）■校時

場　所：SS課題探究Ⅰの活動教室

形　態：・全体を３つのグループ（１グループ６～７人）に分け、グループの中で発表を行う。

・１人当たり10分（発表７分、質疑応答３分）とする。

・発表のための資料やスライドを作成する必要はない。一方、持ち込みの制限もなく、発表を効果的に行うために必要なもの（絵や写真、イラスト、ポスター、作成したレポートや読み原稿など）は適宜用意していい。ただし、黒板、モニタ、スクリーンなどの使用や、他の発表を妨げること（大きな音を流す、など）は認めない。

■【重要】発表の内容と評価対象

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 内容 | 評価対象 |
| 表題 | 自分が決めた最終的なアイデア | ― |
| 副題 | 自分のアイデアに関連するＳＤＧｓの17の目標 | ― |
| 研究テーマ | 自分の研究テーマと、そのテーマを選んだ理由 | 研究テーマと選んだ理由について、その背景の情報、自分の気持ちや考えとともに、述べられている。 |
| 現状の課題 | 自分の研究テーマの現状の課題 | 研究テーマに対し、今までにどのような取組や研究がなされているか、何が解決していて何が解決していないのか、が述べられている。 |
| 課題解決のアイデアと期待できる効果 | 自分のアイデアが課題の解決に対して期待できる効果と、その根拠 | 提案されたアイデアに独自性があり、根拠に基づいて課題の解決に効果が期待できると考えられる。 |
| 今後の課題 | 提案したアイデアをより確かなものにするために取り組むべきと考える事項 | 提案されたアイデアを実現するための今後の課題が見据えられ、そのために取り組むべきことが述べられている。 |

■評価基準

１年　　　組　　　　番　氏名

発表を聞くときは、発表の内容に対して評価を行う。４つの項目を、それぞれ次の表の基準にしたがい５段階で評価する。この表は発表の前によく読み、的確に評価を行うようにすること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 評価 | |
| 研究テーマ | ５ | 評価４の内容に加え、特に明確で説得力があると判断できる。 |
| ４ | 研究テーマと選んだ理由について、その背景の情報、自分の気持ちや考え、の両方の観点から述べられている。 |
| ３ | 研究テーマと選んだ理由について、その背景の情報、自分の気持ちや考え、の両方の観点から述べられているが、不明確または説得力がない。 |
| ２ | 研究テーマと選んだ理由について、その背景の情報、自分の気持ちや考え、のどちらかの観点からしか述べられていない。 |
| １ | 研究テーマは述べられたが、選んだ理由について述べられていない。または研究テーマについて何も述べられていない。 |
| 現状の課題 | ５ | 評価４の内容に加え、特に明確で説得力があると判断できる。 |
| ４ | 研究テーマに対する現状の課題（解決していること、いないこと）が、今までなされている取組や研究などに触れながら述べられている。 |
| ３ | 研究テーマに対する現状の課題（解決していること、いないこと）が、今までなされている取組や研究などに触れながら述べられているが、不明確または説得力がない。 |
| ２ | 研究テーマに対する現状の課題（解決していること、いないこと）が述べられているが、今までなされている取組や研究などに触れられていない。 |
| １ | 研究テーマに対する現状の課題（解決していること、いないこと）が述べられていない。 |
| 課題解決のアイデアと期待できる効果 | ５ | 評価４の内容に加え、特に明確で説得力があると判断できる。 |
| ４ | 提案されたアイデアに独自性があり、課題の解決に期待できる効果が根拠に基づいて述べられている。 |
| ３ | 提案されたアイデアに独自性があり、課題の解決に期待できる効果が根拠に基づいて述べられているが、不明確または説得力がない。 |
| ２ | 提案されたアイデアに独自性がない、または課題の解決に期待できる効果が根拠に基づいて述べられていない。 |
| １ | 提案されたアイデアに独自性がなく、かつ課題の解決に期待できる効果が根拠に基づいて述べられていない。またはアイデアが述べられていない。 |
| 今後の課題 | ５ | 評価４の内容に加え、特に明確で説得力があると判断できる。 |
| ４ | 提案されたアイデアを実現するための今後の課題が述べられている。さらに、そのために取り組むべきことが述べられている。 |
| ３ | 提案されたアイデアを実現するための今後の課題が述べられている。しかし、そのために取り組むべきことが不明確または説得力がない、または述べられていない。 |
| ２ | 提案されたアイデアを実現するための今後の課題が述べられているが、不明確または説得力がない。 |
| １ | 提案されたアイデアを実現するための今後の課題が述べられていない。 |

■評価方法

発表当日に次のような評価シートを配布する。評価基準にしたがい、評価を行うこと。

この評価シートは、発表終了後に発表者に渡す予定である。評価者は、発表をよく聞き、責任をもって評価をすること。また発表者は、評価シートを受け取ることで、自分の発表の内容を振り返り、今後の活動に活かしていくこと。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発表者  １年　　組　　　番　氏名 | | | 評価者  １年　　組　　　番　氏名 | | |
| 研究テーマ | 現状の課題 | 課題解決のアイデアと期待できる効果 | | 今後の課題 | 合計 |
| ５・４・３  ・２・１ | ５・４・３  ・２・１ | ５・４・３  ・２・１ | | ５・４・３  ・２・１ | ／５０ |
| ×２  　⇒　　　　 /10 | ×３  　⇒　　　　 /15 | ×３  　⇒　　　　 /15 | | ×２  　⇒　　　　 /10 |
| 感想・メモ | | | | | |

■スケジュール

１つの活動教室に在籍する19～20名の生徒を３つのグループに分けて発表を行う。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  | Ａグループ | | Ｂグループ | | Ｃグループ | |
| ■日 | １ |  |  |  |  |  |  |
|  | ２ |  |  |  |  |  |  |
|  | ３ |  |  |  |  |  |  |
| ■日 | ４ |  |  |  |  |  |  |
|  | ５ |  |  |  |  |  |  |
|  | ６ |  |  |  |  |  |  |
|  | ７ |  |  |  |  |  |  |

■発表の際の注意点　　　（https://human-touch.jp/spn/career/column/to\_be\_expert/rt\_consult\_240.html　より抜粋）

１　基本的な身だしなみに注意する

当たり前のことですが、服装や髪形など、基本的な身だしなみはきっちりとしましょう。校外でのプレゼンテーションでは特に重要です。

２　聴き手の方を見て話す

スクリーンの方ばかりを見て話す、手元の原稿を見て話すことは避けましょう。スクリーンの図を示すのであれば、スクリーンに向いてポインターなどで示した後で、聴き手の方に向き直して話してください。原稿を見るのであれば、原稿を見て話すべきことを確認してから、聴き手の方を向いて話しましょう。

３　原稿や資料を読むのではなく、自分の言葉で話す

原稿を作成したとしても、それを読むのは避けましょう。原稿は話す内容を思い出すきっかけとして、自分の言葉で話すようにしてください。

４　早口になりすぎない

基本的に人は緊張すると早口になります。意識してゆっくりと話すようにしましょう。

５　大きな声で話す

小さな声では聴きとりにくいし、自信がなさそうに聞こえます。会場の大きさに合わせて、一番後ろの人にも聞こえるように大きな声で話すことを意識しましょう。

６　声の強弱をつける

重要な部分では声を意識的に大きくし、それ以外の部分は普通で話すと言うように、声の強弱をつけましょう。一本調子の話し方は聴き手の眠気を誘います。 時には意識的に沈黙の時間をつくることも有効です。

７　身振り手振りを使う

情熱を示すためには、最も重要な部分だけ身振り手振りで強調することも効果的です。

８　必ず時間厳守で終わる

定められた時間を過ぎても話し続けることはプレゼンテーションの価値を大きく下げます。必ず、制限時間内に終わるようにしましょう。もし、途中で制限時間内に終わりそうもないと思った場合は、途中を省いてでもきっちりと時間内に終わらせるべきです。

９　質問には丁寧に答える

質問を恐れないようにしましょう。聴き手はあなたの敵ではありません。 質問が出た時は、質問を丁寧に繰り返して内容を確認し、丁寧に答えてください。想定外のどうしても答えることができない質問が出た場合は、正直に今すぐには答えることができないことを言い、後日、回答するようにするのが良いでしょう。その場しのぎのいい加減な答えをすると後で大変なことになる危険性があります。

|  |
| --- |
| ★今後の予定★  ■月■日（■）、■日（■） アイデアの発表  ■月■日（■） レポート提出（Google Classroomにて）  ―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――――  ■月■日（■） 高大連携講座  ■月■日（■） 課題研究に関する講演会、今後の課題研究のオリエンテーション  ■月■日（■） 課題研究グループ決め（予定） |